

## 2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月10日

上場会社名 株式会社コシダカホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 2157 URL <http://www.koshidakaholdings.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腰高 博  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 土井 義人 (TEL) 0570-666-425  
四半期報告書提出予定日 2024年4月11日 配当支払開始予定日 2024年5月9日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年8月期第2四半期の連結業績(2023年9月1日~2024年2月29日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	30,578	19.4	4,834	37.1	5,542	50.5	3,896	55.9
2023年8月期第2四半期	25,609	54.9	3,525	—	3,683	23.9	2,499	32.7

(注) 包括利益 2024年8月期第2四半期 3,874百万円( 56.1%) 2023年8月期第2四半期 2,481百万円( 35.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	47.79	43.72
2023年8月期第2四半期	30.66	28.15

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	59,188	28,697	48.5
2023年8月期	57,007	25,394	44.5

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 28,689百万円 2023年8月期 25,385百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	5.00	—	7.00	12.00
2024年8月期	—	7.00	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	62,728	14.8	9,278	21.0	9,939	28.0	6,753	△5.0	82.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2024年4月10日)公表いたしました「2024年8月期 第2四半期累計期間の連結業績予想と実績の差異並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年8月期2Q	82,300,000株	2023年8月期	82,300,000株
2024年8月期2Q	767,377株	2023年8月期	767,376株
2024年8月期2Q	81,532,623株	2023年8月期2Q	81,532,681株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 4「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウクライナ戦争の長期化、パレスチナガザ地区におけるイスラエル・ハマスの紛争や、それに伴う周辺反イスラエル勢力による民間船舶への攻撃など、従来からのエネルギー・食料品の供給不安に、国際物流のコストアップが加わり、物価は高止まりの状態となりました。国内物価に影響を与える為替レートは日米金融政策の転換タイミングを覗いつつ、円安水準で一進一退の状況が続きました。

米大統領選、中国経済の停滞と台湾海峡の緊張など不安定要素も多い一方で、インバウンド観光客が戻り、大手企業先行とはいうものの給与水準引き上げ傾向を背景に、物価の安定的上昇につながる可能性も見えてくる中、日経平均株価が高値更新するなど、失われた30年を漸く取り戻しつつあるとも言える状況となっています。

各セグメントの業績は次のとおりとなりますが、第1四半期連結会計期間より、温浴事業セグメントについては、同セグメントの主要施設である東京健康ランドまねきの湯閉店に伴う温浴事業の規模縮小により、その他事業セグメントの一部としました。また、従来カラオケ事業セグメントに区分されていたカラオケサービスを提供していない純飲食店である銀だこハイボール4店舗、カフェクラ1店舗及び新業態のカノップ2店舗についても、その他事業セグメントに集約する形としました。

以下の前年同期比較については、前年同四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### [カラオケ]

主力のカラオケ事業では、当第2四半期連結累計期間においても、積極的出店を継続し、出店余地の大きい近畿・中京地区の11店舗を含む28店舗を開設した他、既存店の機器・設備等の改善にも取り組みました。前第2四半期連結累計期間中に行った価格見直し後は、概ね当該水準を維持してきましたが、国内における消費者物価上昇の背景に対して、あらためてプライシングの見直しを進めた結果、客単価では計画を下回ったものの、客数では計画を上回り、売上高はほぼ計画線にて推移いたしました。

また、中期経営ビジョン「エンタメをインフラに」の実現に向け、カラオケ以外のエンターテインメントの提供、コンテンツコラボの積極的展開、採用・教育体制の拡充を進めた他、新規エンターテインメント及び各種業務効率化に向けたDX施策の開発・導入準備を進め、新たなPER施策として「ONEREC VK」を一部店舗にてテスト導入しております。組織体制の強化の一環として給与水準の引き上げを含む人事制度（Workstyle Innovation Plan）の刷新も行ってまいります。

海外においても、前期再開した東南アジアでの新規出店を継続し、第2四半期連結期間中に1店舗を加えマレーシアに3店舗、タイ、インドネシアにそれぞれ1店舗をオープンいたしました。

当第2四半期連結累計期間末のカラオケセグメントの国内店舗数は、前連結会計年度末比26店舗増加し646店舗、海外店舗数は同5店舗増の4か国22店舗（韓国4店舗、マレーシア13店舗、タイ3店舗、インドネシア2店舗）となりました。

以上の結果、カラオケセグメントの売上高は295億90百万円（前年同期比22.0%増）、セグメント利益は55億49百万円（同14億84百万円増益、36.5%増）となりました。

#### [不動産管理]

主要物件である「アクエル前橋」、「フルーレ花咲ビル」とも期初よりほぼ満床にて推移いたしました。一方、前第3四半期連結会計期間において、自社物件「スポーツ名古屋」を譲渡したことから該当収益がなくなったこと、また新規取得案件の経費などが発生しております。

以上の結果、不動産管理セグメントの売上高は7億49百万円（前年同期比0.5%減）、セグメント利益は40百万円（同88百万円減益、68.5%減）となりました。

#### [その他]

第1四半期連結会計期間に「東京健康ランドまねきの湯」を閉店したことから該当収益がなくなっております。一方カラオケ事業からその他事業にセグメント移動をした飲食店舗5店舗の収益は改善しております。

以上の結果、その他セグメントの売上高は4億34百万円（前年同期比39.5%減）、セグメント損失は39百万円（赤字拡大）となりました。

以上により、当社グループ（当社及び連結子会社）の当第2四半期連結累計期間の売上高は305億78百万円（前年同期比19.4%増）、営業利益48億34百万円（同37.1%増）、経常利益55億42百万円（同50.5%増）、親会社株主に帰属

する四半期純利益は38億96百万円（同55.9%増）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ21億86百万円減少し101億87百万円（同比17.7%減）となりました。これは主に、現金及び預金が22億66百万円減少したことなどによるものです。

有形固定資産は25億21百万円増加し345億53百万円（同比7.9%増）となりました。これは主に、新規出店に伴い建物及び構築物（純額）が21億58百万円増加したことなどによるものです。

無形固定資産は1億33百万円増加し6億44百万円（同比26.1%増）となりました。

投資その他の資産は17億11百万円増加し138億2百万円（同比14.2%増）となりました。これは主に、敷金及び保証金が5億94百万円、投資有価証券が3億16百万円、それぞれ増加したことなどによるものです。

固定資産の総額は、43億66百万円増加し490億円（同比9.8%増）となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ21億80百万円増加し591億88百万円（前連結会計年度末比3.8%増）となりました。

#### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ10億57百万円減少し129億6百万円（同比7.6%減）となりました。これは主に、未払金が6億97百万円、未払法人税等が3億10百万円、流動負債のその他が4億63百万円、それぞれ減少した一方、預り金が3億54百万円増加したことによるものです。

固定負債は65百万円減少し175億83百万円（同比0.4%減）となりました。これは主に、長期借入金が5億55百万円減少した一方で、資産除去債務が4億81百万円増加したことなどによるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、11億22百万円減少し304億90百万円（同比3.6%減）となりました。

#### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ33億3百万円増加し286億97百万円（同比13.0%増）となりました。これは主に、利益剰余金が33億25百万円増加したことなどによるものです。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して22億72百万円減少し、55億82百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により、資金は51億18百万円増加（前年同期は49億36百万円の増加）しました。これは主に、税金等調整前四半期純利益54億10百万円、減価償却費20億64百万円による増加があった一方で、法人税等の支払い20億49百万円による減少があったことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動により、資金は63億25百万円減少（前年同期は89億70百万円の減少）しました。これは主に、有形固定資産の取得による支出47億47百万円、敷金及び保証金の差入による支出6億21百万円、投資有価証券の取得による支出3億18百万円による減少があったことによるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により、資金は10億62百万円減少（前年同期は24億19百万円の増加）しました。これは主に、長期借入れによる収入5億円及び長期借入金の返済による支出9億91百万円、配当金の支払5億70百万円による減少があったことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

期初予想の想定に対し、上期は単価面では下回る一方で、客数については想定を上回る水準で推移いたしました。下期は同様の流れで策定した期初予想を維持し、当第2四半期累計期間の実績が期初予想を上回った額を期初予想に加算した上方修正を行いました。

以上により、2024年8月期通期の連結業績につきましては、売上高627億28百万円（前連結会計年度比14.8%増）、営業利益92億78百万円（同21.0%増）、経常利益99億39百万円（同28.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益67億53百万円（同5.0%減）を見込んでおります。

なお、当社では従来より中期経営ビジョン「エンタメをインフラに」（Entertainment Infrastructure Plan）を掲げ、①店舗網の拡充とカラオケルーム数の拡大、②各種エンターテインメントの提供、③人財の採用と育成の3点を重点課題と位置づけております。

重点課題に向けた取組みとして、a)高度人財の積極的な採用と永続的な成長を維持しうる組織体制づくり、b)PER（Private Entertainment Room）を拡充するための、DXソリューションを活用しリアル・デジタルを融合させた“場所・空間の制約を超えたエンタメ体験価値”の創造による既存のカラオケにとらわれない新たな顧客体験の創出、c)エンタメと健康増進（ウェルネス）を両立させた「ウェルテインメント」追求型の新業態開発、の3点を重要施策と位置付け、企業価値向上に向けて各種施策を推進しておりますが、2024年8月期におきましても各種業務効率化施策の他、新たなPER施策としての「ONEREC VK」の導入など、具体的なDX施策の導入を進めております。

なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,437,076	6,170,413
受取手形及び売掛金	947,213	897,488
商品	169,363	170,216
原材料及び貯蔵品	384,959	328,309
その他	2,438,031	2,624,132
貸倒引当金	△2,575	△2,584
流動資産合計	12,374,069	10,187,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,587,377	24,745,699
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	2,792,752	2,919,443
土地	6,627,123	6,627,123
建設仮勘定	25,029	261,702
有形固定資産合計	32,032,282	34,553,968
無形固定資産		
のれん	1,290	638
ソフトウェア	364,271	435,457
その他	145,345	208,065
無形固定資産合計	510,907	644,161
投資その他の資産		
投資有価証券	288,714	605,567
関係会社株式	10,404	183,960
長期貸付金	2,205,026	2,173,296
長期前払費用	603,846	656,898
敷金及び保証金	7,507,557	8,102,145
繰延税金資産	2,068,785	2,249,847
その他	151,916	427,108
貸倒引当金	△745,706	△596,669
投資その他の資産合計	12,090,543	13,802,156
固定資産合計	44,633,733	49,000,287
資産合計	57,007,803	59,188,263

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	644,739	559,876
1年内返済予定の長期借入金	1,911,240	1,975,240
未払金	2,785,751	2,088,524
未払費用	1,610,478	1,610,586
未払法人税等	2,262,994	1,952,062
賞与引当金	347,162	427,294
預り金	263,142	617,609
その他	4,138,895	3,675,695
流動負債合計	13,964,404	12,906,888
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	4,000,000	4,000,000
長期借入金	6,937,210	6,381,590
繰延税金負債	690,852	670,156
資産除去債務	5,137,733	5,619,014
その他	883,089	912,781
固定負債合計	17,648,884	17,583,542
負債合計	31,613,289	30,490,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,070,257	2,070,257
資本剰余金	3,302,786	3,302,786
利益剰余金	20,455,244	23,780,526
自己株式	△105,741	△105,742
株主資本合計	25,722,546	29,047,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,576	49,846
為替換算調整勘定	△384,231	△408,463
その他の包括利益累計額合計	△336,654	△358,617
新株予約権	8,622	8,622
純資産合計	25,394,514	28,697,832
負債純資産合計	57,007,803	59,188,263



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	25,609,214	30,578,453
売上原価	19,529,911	22,492,093
売上総利益	6,079,302	8,086,360
販売費及び一般管理費	2,554,199	3,251,823
営業利益	3,525,102	4,834,537
営業外収益		
受取利息及び配当金	17,657	12,569
為替差益	147,858	131,119
貸倒引当金戻入額	—	39,812
解約金収入	—	504,715
その他	59,560	123,416
営業外収益合計	225,076	811,633
営業外費用		
支払利息	20,737	15,573
貸倒引当金繰入額	39,289	—
支払家賃	—	69,264
その他	6,600	18,666
営業外費用合計	66,627	103,504
経常利益	3,683,551	5,542,665
特別利益		
固定資産売却益	296	—
特別利益合計	296	—
特別損失		
固定資産除却損	35,736	14,533
減損損失	2,018	117,418
投資有価証券評価損	8,023	—
特別損失合計	45,778	131,952
税金等調整前四半期純利益	3,638,070	5,410,713
法人税、住民税及び事業税	543,048	1,717,463
法人税等調整額	595,192	△202,759
法人税等合計	1,138,241	1,514,703
四半期純利益	2,499,828	3,896,010
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,499,828	3,896,010

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	2,499,828	3,896,010
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,860	2,270
為替換算調整勘定	△27,338	△24,232
その他の包括利益合計	△18,477	△21,962
四半期包括利益	2,481,350	3,874,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,481,350	3,874,047

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,638,070	5,410,713
減価償却費	1,816,175	2,064,297
減損損失	2,018	117,418
のれん償却額	2,054	651
賞与引当金の増減額(△は減少)	94,968	80,131
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,191	△150,819
受取利息及び受取配当金	△17,657	△12,569
支払利息	20,737	15,573
有形固定資産売却損益(△は益)	△296	—
固定資産除却損	35,736	14,533
売上債権の増減額(△は増加)	△157,470	49,990
棚卸資産の増減額(△は増加)	△65,591	55,979
未収入金の増減額(△は増加)	△3,158	—
仕入債務の増減額(△は減少)	36,555	△85,470
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	25,289	△761,436
その他	161,010	372,799
小計	5,592,634	7,171,792
利息及び配当金の受取額	17,657	12,569
利息の支払額	△20,899	△15,573
法人税等の支払額	△652,894	△2,049,833
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,936,497	5,118,955
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△7,367,241	△4,747,149
有形固定資産の売却による収入	50,741	—
無形固定資産の取得による支出	△124,809	△231,571
投資有価証券の取得による支出	△50,000	△318,967
非連結子会社株式の取得による支出	—	△173,529
投資有価証券の売却等による収入	5,520	2,600
敷金及び保証金の差入による支出	△889,945	△621,064
敷金及び保証金の回収による収入	13,458	25,506
貸付けによる支出	△613,476	△281,610
貸付金の回収による収入	5,323	20,090
その他	△40	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,970,469	△6,325,696
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,198,730	—
長期借入れによる収入	700,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△1,153,286	△991,620
自己株式の取得による支出	△33	△1
配当金の支払額	△326,130	△570,728
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,419,279	△1,062,349
現金及び現金同等物に係る換算差額	157,633	△2,941
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,457,059	△2,272,032
現金及び現金同等物の期首残高	6,379,401	7,854,269
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	13,878	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,936,220	5,582,237

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	カラオケ	不動産管理	その他			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	24,249,354	87,044	717,988	25,054,388	—	25,054,388
その他の収益	—	554,825	—	554,825	—	554,825
外部顧客への売上高	24,249,354	641,870	717,988	25,609,214	—	25,609,214
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	111,373	—	111,373	△111,373	—
計	24,249,354	753,244	717,988	25,720,588	△111,373	25,609,214
セグメント利益又は損失(△)	4,065,050	129,069	△15,710	4,178,408	△653,305	3,525,102

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△653,305千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失及びのれん等の重要な変動について、該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	カラオケ	不動産管理	その他			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	29,590,979	139,578	434,294	30,164,852	—	30,164,852
その他の収益	—	413,601	—	413,601	—	413,601
外部顧客への売上高	29,590,979	553,179	434,294	30,578,453	—	30,578,453
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	196,156	—	196,156	△196,156	—
計	29,590,979	749,336	434,294	30,774,610	△196,156	30,578,453
セグメント利益又は損失(△)	5,549,848	40,712	△39,726	5,550,834	△716,297	4,834,537

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△716,297千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失及びのれん等の重要な変動について、該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、中期経営ビジョンで掲げている戦略施策を加速・強化すること、また資源配分に係る意思決定、業績管理及びシナジー効果等の評価を適切に行うために、事業活動の実態を適切に表すよう経営管理区分の見直しを行い、温浴事業セグメントについては、同セグメントの主要施設である東京健康ランドまねきの湯を2023年9月3日にて閉館したことにより、金額的重要性が乏しくなったこと踏まえ「その他事業」とすること、カラオケ事業セグメントについても、同セグメントに含まれているその他業態の店舗（注）1を「その他事業」に集約、変更することと致しました。

また前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(注) 1. カラオケ事業に含まれているその他業態の店舗：銀だこハイボール、カノップ、カフェエクラ

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。